

シルバーカー

No.668 スイートⅢ



保証書付

保管用

最大使用者体重
75kg以下

この商品は
座れます

この製品は主として自立歩行できる高齢者が、より安定して歩行できるように補助的に使用するものです。但し、手すり等の固定したものにつかまらなければ歩行できない人や、介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない人等には適しません。

使用に適しているか否か不明の場合には、必要に応じて専門家など(福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士等)に相談し購入されることを勧めます。

お買い上げいただき、まことに有難うございました。
取扱説明書を必ず読み、読んだ後保管してください。

取扱説明書





	ページ
使用上の注意	2
各部の名前	4
車体の広げ方	5
折りたたみ方	5
キャスターについて	5
メッシュバッグ	6
ハンドルの高さ調節	6
ブレーキのかけ方	6
駐車ブレーキロックのかけ方	6
仕様	6
座面の使用方法	7
ブレーキの調整	7
ブレーキワイヤーの交換	7
保管のしかた	7
保証書	8
SGマークの被害者救済制度 について	8

使用上の注意

必ずお読みください。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。




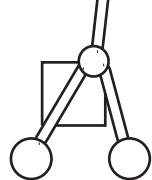

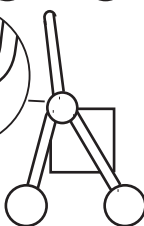
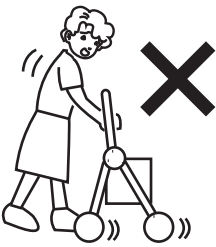


してはいけない
「禁止」内容です。



必ず実行していただく
「強制」内容です。

加齢等によって、この製品が合わなくなり危険となる場合があります。屋内の移動が困難になったり、屋外でも短距離の移動が困難になった場合には使用を中止すること。また、定期的に専門家等にこの製品が適切かどうかを確認してください。

 警告		
 必ず守る	<p>急激な衝撃や過度の圧力をかけないこと。 パイプ等が曲がる可能性があります。 一度曲がったパイプを修正しての使用は絶対にしないこと。</p>	<p>駐車ブレーキ ロック → </p> 
	<p>座面に腰をかけるときは、必ず駐車ブレーキロックをかけ、ブレーキが左右両輪にかかっていることを確認すること。 また、傾斜地では腰をかけないこと。</p>	
	<p>使用前にロックがかかっているか必ず確認すること。 ロックがかかっていると折りたたまれ危険です。 使用者が転倒し、けがの原因になります。</p>	<p>ロック 掛ける ↓ </p> 
	<p>ハンドル以外のところを持って押さないこと。 車体の故障・使用者の転倒の原因になります。</p>	
	<p>坂道等の使用はハンドブレーキ等を使用し、十分注意をすること。車体が転倒し、けがの原因になります。</p>	
	<p>踏み切りを渡るときは、できるだけ線路に対して直角に進んでください。斜めに渡ると、車輪を取られたり、線路の溝に車輪がはさまったりする恐れがあります。</p>	
<p>使用される際は、歩いて使用すること。 走ったりフレームに足をかけて使用すると、破損やけがの原因になります。</p>		

⚠ 警告

ハンドルに寄りかかったり、過度の荷重をかけないこと。車体が移動して使用者が転倒し、けがの原因になります。注意して下さい。

座面に浅く座らないこと。
また、座面以外のところには座らないこと。

バッグ内に乳幼児を乗せたり、人を乗せたまま移動しないこと。



禁止

階段やエスカレーターで使用しないこと。

バス・電車などの乗物内では車体に腰をかけないこと。

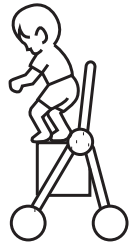
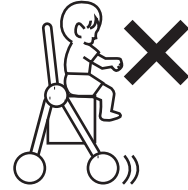
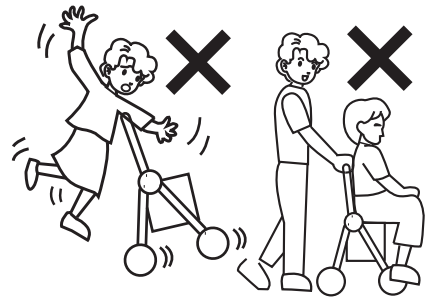
車体で子供が遊ばないようにすること。

雨や雪、凍結時、滑りやすい所では使用しないこと。

改造、分解はしないこと。

砂利道、悪路での使用はしないこと。
車体が転倒し、けがの原因になります。

車体にかさ立てやS字フック・キホルダーなどを付けないこと。ブレーキが利かなくなったり強風であおられたりして大変危険です。



⚠ 注意

使用前は各部を点検し、特にハンドブレーキの左右両車輪の性能について十分確認して使用すること。

組立は操作を確実にし、ハンドルグリップが固定されているか確認すること。

段差や溝などにつまずくと転倒する恐れがあります。また、段差を斜めに侵入しないこと。段差の手前では必ず一旦止まり十分注意して慎重に段差を超えること。



必ず守る

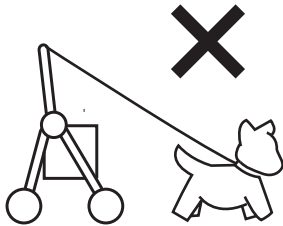
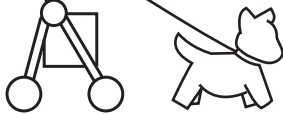
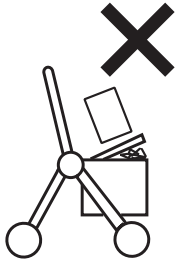
車体から離れるときは、必ず駐車ブレーキロックをかけること。車体が勝手に動き出す恐れがあります。

タイヤ及びブレーキの摩耗がないかを保守・点検し、必要に応じて調節及び交換等を行うこと。

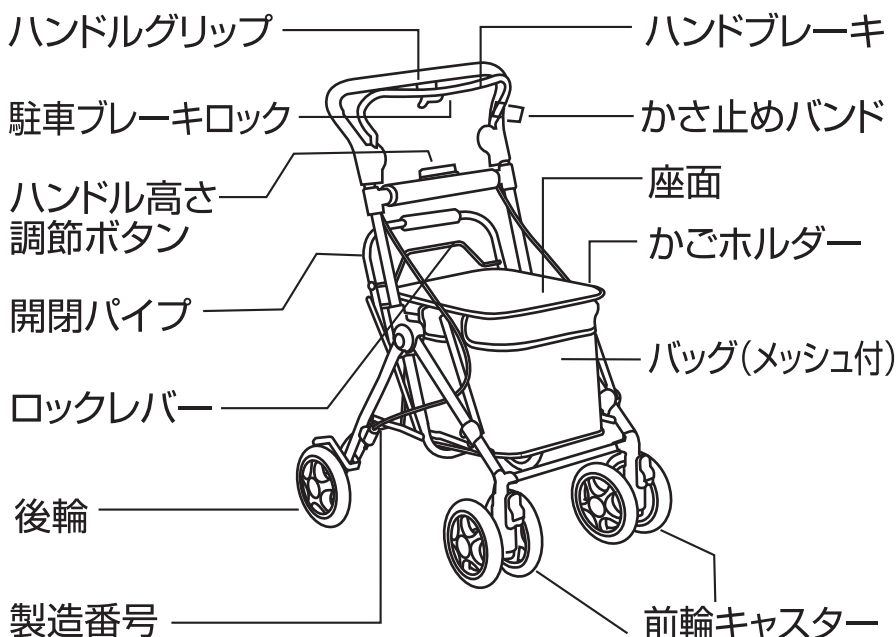
火の近くや高温になる場所での保管は避けること。故障、変形の原因になります。



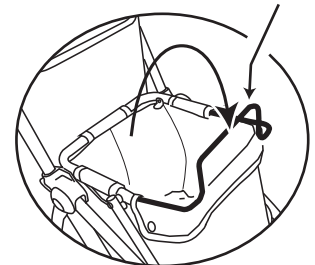
⚠ 注意

! 必ず 守る	折りたたみ時はキャスターを直進方向へ向けてください。 曲がっているとたためません。	
	折りたたみ操作時、手や指等をはさまないように注意すること。	
	交通の頻繁な所、混雑している所、及び夜間での使用は 十分注意すること。	
⊘ 禁止	体重が75kgを超える方は使用しないこと。	
	バッグ内に6kg(載荷重量)以上の荷物を載せないこと。	
	駐車ブレーキロックがかかった状態では押さないこと。	
	ハンドルグリップとハンドブレーキの間に指を入れた ままブレーキをかけないこと。	
	動物または、ペット等を車体につながないこと。 車体が転倒し、けがの原因になります。	
	バッグの中以外に荷物をのせたり、吊したりしないこと。	
	バッグに荷物を入れた時、座面が閉まりきっていない状態で 座面の上に物を置いたり、座ったりしないでください。 座面が破損する可能性があります。	
	傘や杖等を手に持ちながら使用しないこと。	
雨ざらしにしないこと。		

各部の名前



かごホルダー



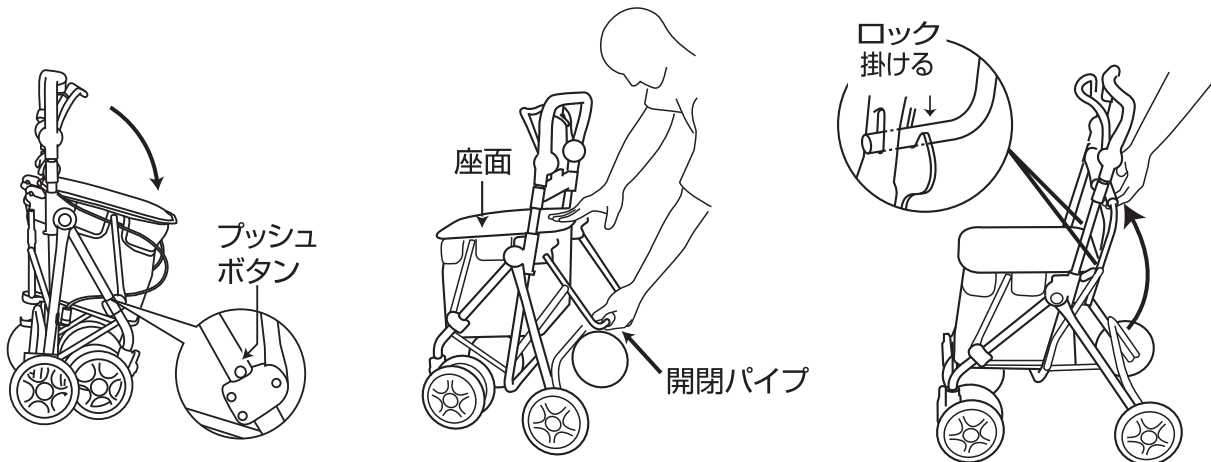
座面下のかごホルダーを前に倒し、座面を閉じる。

⚠ 注意

かごホルダーは店内以外では、使用しないで下さい。

車体の広げ方

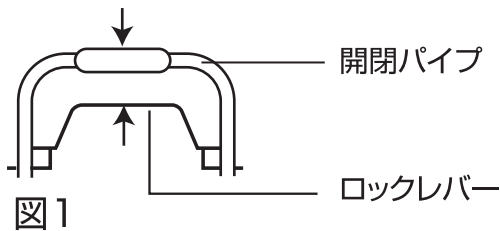
座面を押さえながら、開閉パイプを上げてロックを掛けて下さい。



- 注意**
- ・左右ロックされているか、必ず確認してから使用して下さい。
 - ・ロックが掛かりにくい時は、折りたたみ方の 図1 を参考に開閉パイプとロックレバーをにぎってロックを掛けて下さい。

折りたたみ方

開閉パイプとロックレバーをにぎってロックを解除し、開閉パイプを下ろして下さい。



- 注意**
- ・ふた(座面)を開けたまま折りたたまないで下さい。
 - ・折りたたみ時、前輪キャスターを直進方向にすること。曲がっているとたためません。
 - ・折りたたみ操作時は手や指をはさまないように注意すること。

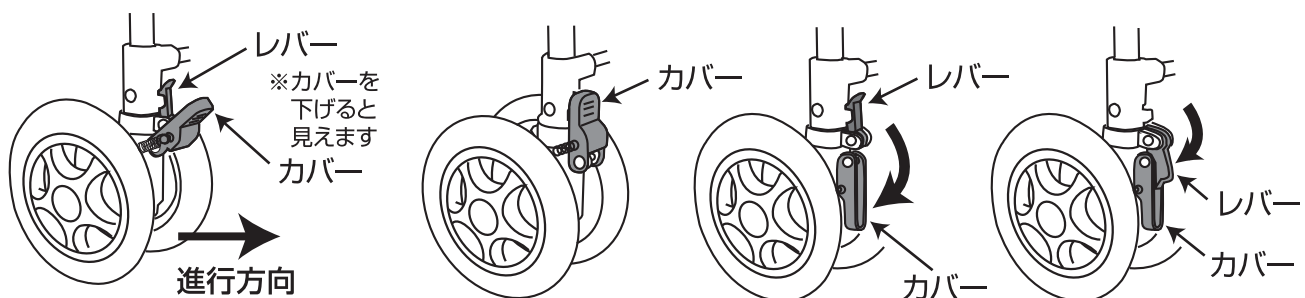
キャスターについて

まず車輪を直進方向にまっすぐ向けて下さい。

・カバー、レバーとも上げると直進固定。

・カバーを下げると左右45°

・カバー、レバーとも下げると回転。



- 注意** 左右のキャスターは同じ調節にして下さい。

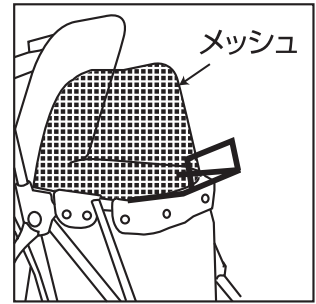
メッシュバッグ

バッグの内側のメッシュを外に出すと荷物がこぼれ落ちません。



注意

ふたを開けたまま折りたたまないで下さい。



ハンドルの高さ調節

① ハンドル高さ調節ボタンを押しながら…

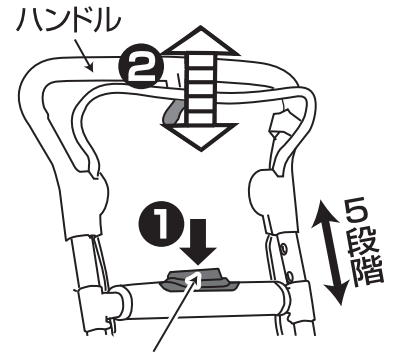
② ハンドルの高さを調節して下さい。

※カチッ!と音がして固定されるのを確認して下さい。



注意

使用前にハンドルが確実に固定されているか必ず確認すること。



ハンドル高さ調節ボタン

ブレーキのかけ方

ハンドブレーキを握ると両輪ブレーキが掛かります。



注意

指をはさまないように注意して下さい。

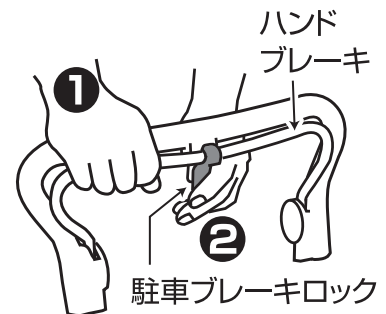


駐車ブレーキロックのかけ方

① ハンドブレーキをいっぱいのにぎる。

② 駐車ブレーキロックを掛ける。

※はずす時もハンドブレーキをいっぱい
にぎって駐車ブレーキロックをはずす。



注意

- 長時間駐車ブレーキロックを掛けたままにしないこと。
- 歩行時は必ず駐車ブレーキロックを解除すること。
- 座るときは必ず駐車ブレーキロックを掛けること。

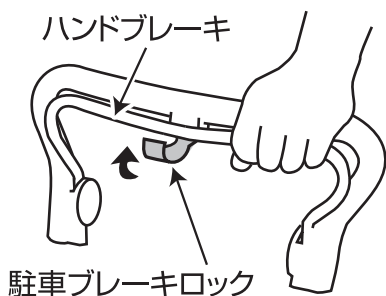
仕様

型式	No.668	重量	4.5kg
車体	ハンドル高さ5段階・ハンドブレーキ・ 駐車ブレーキロック・折りたたみ式・ 3WAYキャスター	積載量	6kg
		バッグ寸法	幅210奥行250高さ230mm
		バッグ材質	ポリエステル
車体材質	アルミパイプ・合成樹脂	製造番号	後輪パイプに貼付け
車体寸法	幅480奥行540高さ820~920mm	品質保証期間	ご購入日より1年

座面の使用方法

ハンドブレーキを握って..

- 1 駐車ブレーキロックをかける。



- 2 前方よりゆっくり座面の中央に座って下さい。



警告

- 座面に腰をかけるときは、必ず駐車ブレーキロックを掛けて下さい。
- 座面に人を座らせたまま押したりしないこと。
- 傾斜地では座面を使用しないこと。



注意

- 座面を踏み台代わりに使用しないこと。
- 座面に浅く座ったり、強く寄りかかったりしないこと。
- 座面を使用する場合は、決してハンドルにはもたれかからないで下さい。(ブレーキロックが外れます)
- かごホルダーはバッグ内に入れて下さい。

ブレーキの調整

- 1 ネジで調節して 2 ナットをしめて下さい。

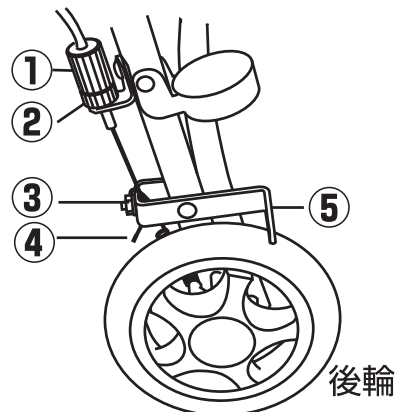
- 1 ネジで調節しきれない場合は、3 ナットをゆるめ 5 を車輪に近づけて、4 ワイヤーを引っ張り 3 をゆるまない様にしめて下さい。



注意

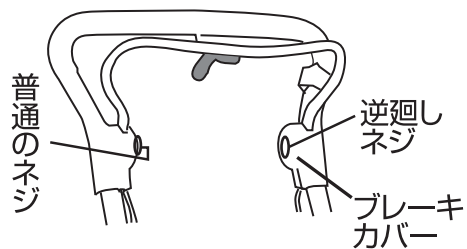
- 5 ブレーキ板と車輪のすき間をせまくしすぎると、操作が固くなったり、故障の原因になります。
- 左右同じ利き具合にして下さい。

ブレーキ調整図



ブレーキワイヤーの交換

ブレーキカバーをはずし外し、上記ブレーキ調整図の 3 ナットをゆるめ、ブレーキワイヤーを交換して下さい。



注意

ネジの廻す方向を間違えないこと。間違えるとネジがきかなくなります。

保管のしかた

1. 本体や車輪についた泥などの汚れは、やわらかいブラシや布で拭いて落して下さい。
2. ひどい汚れは布に水や中性洗剤を薄めたものを含ませて、ぬぐった後、乾いた布でよく拭いて下さい。
3. 長時間駐車ブレーキロックを掛けないで下さい。
4. 保管は直射日光をさけ、雨ざらしにしないで下さい。
5. シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤で手入れしないで下さい。
6. 車体は、折りたたんだ状態で自立しますが、倒れやすいので安全な所に収納して下さい。

製品改良のため、仕様、外観は予告無しに変更することがありますのでご了承ください。

発売元 **Symbol** 須恵廣工業株式会社

〒547-0005 大阪市平野区加美西1-11-5
TEL (06) 6791-3686 FAX (06) 6791-3623